



第2560地区ガバナー 新保清久
会 長 / 小出子恵出
会長エレクト / 松 永 一 義 (クラブ奉仕A)
会長ノミニ / 若槻八十彦 (クラブ奉仕B)
副 会 長 / 五十嵐晋三
幹 事 / 吉井直樹
S A A / 歸 山 肇
会 計 / 関 川 博

例会日 / 毎週水曜日 12:30~
例会場及び事務局 /
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場 / TEL 34-3311
事務局 / TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:60名中40名
■先々週出席率:86.21%

【ビジター】

- ・米山奨学生
ベニヤ ゴンザレス, ルイス エドアルド君

【先週のメイクアップ】

- [10.20] 吉田RCへ
・加藤紋次郎さん
- [10.26] 三條東RCへ
・小林敏信さん、木村文夫さん、
・熊倉昌平さん、小林卓哉さん、
・阿部吉弘さん、加藤紋次郎さん、
・渋谷健一さん、五十嵐晋三さん、
・小越憲泰さん、五十嵐昭一さん、
・中村和彦さん、渡辺勝利さん、
・相場弘介さん (13名)
- [10.26] 地球環境保全のための植樹事業(十日町)へ
・吉井直樹さん
- [10.26] 三條ローターアクトへ
・吉井直樹さん
- [10.30] 三條南RCへ
・相場弘介さん、江部卓城さん、
・伊藤寛一さん、榊山 仁さん、
・梶 英和さん、加藤紋次郎さん、
・小林卓哉さん、杉山幸英さん、
・菊池 渉さん、小越憲泰さん、
・山田富義さん (11名)
- [11.2] 三條ローターアクトへ
・松永一義さん
- [11.5] 五十嵐川クリーン作戦へ
・伊藤寛一さん、衛藤泰男さん、
・荻根澤隆雄さん、木村文夫さん、
・小林卓哉さん、杉山幸英さん、
・中條克俊さん、野崎喜一郎さん、
・松永一義さん、丸山行彦さん、
・柳取崇之さん、渡辺良一さん (12名)
- [11.6] 三條南RCへ
・菊池 渉さん、丸山行彦さん、
・梶 英和さん、吉井直樹さん、
・石橋育於さん、山田富義さん、
・小越憲泰さん、加藤紋次郎さん、
・阿部吉弘さん、斎藤弘文さん、
・小林敏信さん (11名)
- [11.7] 分水RCへ
・野崎喜一郎さん
- [11.7] 三條北RCへ
・菊池 渉さん、斎藤弘文さん、
・小越憲泰さん、梶 英和さん、
・石橋育於さん、丸山行彦さん、
・五十嵐晋三さん、渡辺勝利さん、
・阿部吉弘さん、加藤紋次郎さん、
・牧 利幸さん、中村和彦さん、
・矢吹信太郎さん、山田富義さん、
・小林敏信さん (15名)



会長挨拶

小出子恵出 会長



下田の吉ヶ平の紅葉は今が真っ盛りで、雨乞池から見る番屋山がビューポイントです。

下田にあるモミジは、ほとんどがヤマモミジで、地面から数本の枝状に茂る株立をしています。紅葉するとき黄色や淡い赤になります。独立して真っ赤になっている物がありますがオオモミジでしょうか。

日本の紅葉は、世界でも1番美しいと言われていますが、「モミジ」と「カエデ」の違いを知っていますか？

下田のモミジは、「紅葉」でなく、「黄葉」と書いたほうが似合っていると思います。

植物分類上では、紅葉(もみじ)と楓(かえで)は同じもので、双方ともに「ムクロジ目カエデ科のカエデ属」に分類されています。つまり、紅葉と呼ばれるものは全て楓なのです。

モミジの語源は、紅花から染料を取り出すという動詞「揉みづ(もみづ)」から来ているのだそうです。

紅花から染料を出す時に、優しく揉むと赤や黄色に色が変わる様が、楓が紅葉する様子と似ていることから、「もみづ

→もみぢ→もみじ」と名前が変化していきました。

つまり、楓がきれいに色づいたものを紅葉という名前で呼ぶようになったのです。

このように、同じ植物を葉の色づきで名前を変えるところはまさに日本らしい表現方法ではないでしょうか？

一方、楓は葉の形がカエルの手に似ていることから、「蛙手(かえるで)→かえで」と呼ばれるようになりました。

幹事報告

吉井直樹 幹事

◎新保ガバナー事務所より

「11月ロータリーレートのご案内」

11月1日より 1ドル=114円 (現行112円)

◎三条南RCより

「第4分区IM報告書」が届いております。

◎新保ガバナー事務所より

「地区大会 御礼」が届いております。

ニコニコBOX

小出子恵出会長

地区大会御参加ありがとうございました。お疲れ様でした。

五十嵐博宣さん

母の葬儀に際しましては大勢のクラブ会員の皆様よりご焼香いただきました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

熊倉昌平さん

今月満84歳になります。天皇陛下と同年です。

小越憲泰さん

久しぶりの例会に出席です。

先々週、氷河やナイヤガラの滝を観て来ました。

楽しい旅行でした。

衛藤泰男さん

函館の五稜郭を見て来ました。幕末の動乱期で当時の人々は大変だったでしょうが、現在は大変美しく一大観光スポットになってました。

荻根澤隆雄さん

3日に会員の野崎さん、中林さんと共に入間基地でブルーインパルスチームアクロバットを見て来ました。素晴らしいですね。

梨本次郎さん

江部会員に触発されて先日ごせん紅葉マラソンのハーフマラソンの部に出場して来ました。江部会員のタイムには遠く及びませんでした。目標の2時間以内で無事にゴールできました。

吉井直樹さん

11月になり、冬の準備を始めました。今年は雪が多い様な気がします。かぜなどひかずに乗り切りたいと思います。

皆様、地区大会で、大変お世話になりました。

樺山 仁さん

地区大会の報告御苦勞様でございます。

冬支度がいよいよ始まります。カゼに注意です。

斎藤弘文さん

地区大会お世話になりました。

杉山幸英さん

先日、地区大会に参加させて頂き有難う御座居ました。本日地区大会の報告、御苦勞様です。

松永一義さん

地区大会の報告をさせていただきます。

若槻八十彦さん

本日、地区大会報告です。よろしくお願ひいたします。

渡辺勝利さん

五十嵐川クリーン欠席すみません。

高橋 司さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

川瀬康裕さん、柳取崇之さん、明田川賢一さん、

船越良則さん、西山徳芳さん、米山智哉さん、

関川 博さん、石橋育於さん

地区大会報告ご苦勞様です。

11月8日分 ¥ 35,000

今年度累計 ¥ 476,000

「地区大会 地区指導者育成セミナー」

10月28日 ホテルオークラ新潟



「地区大会・親睦交流会」

10月29日 鷺メッセ





「地区大会報告」

小出子恵出 会長



日程

- 2017年10月28日(土)
：地区指導者育成セミナー＋
RI会長代理夫妻歓迎晩餐会
(ホテルオークラ)
- 2017年10月29日(日)
：式典＋本会議＋記念講演
(朱鷺メッセ)

出席者数

- 晩餐会出席：211名
- 大会登録：1163名
- 大会出席：約1100名 含ゲスト46名

大会運営組織

- ホストクラブ：新潟万代RC
- ガバナー：新保清久、実行委員長：石動竹治、
ホストクラブ会長：柴野俊子 他

地区指導者育成セミナー

三条市役所前10：30出発のバスで4クラブの会長幹事と地区役員が会場のホテルオークラへ、そこで昼食を頂いて13：00より「地区指導者セミナー」が始まりました。

RI会長代理は、姫路ロータリークラブの三木明様でRI理事エレクトの方で、挨拶は短く、新潟の良いところと大会設営を労ったところまでは覚えています。大会プログラムを見て思い出そうと試みましたが無理でした。昼食後のことで睡魔が襲ったり、少しは覚えていたこともRI会長代理夫妻歓迎晩餐会と2次会、3次会と親睦活動に勤しんだため全て吹っ飛んでしまいました。

会員増強などの地区委員長の報告が10人もありました。

その後ロータリー財団の講演というより講義がありました。ちょっと楽しくない講義が1時間も続きました。その後、米山奨学学友で中国の大学の教壇に立って居られる張博さんの体験発表が20分ほどありました。

その後、また1時間の講演がありました。講師は、東京米山友愛ロータリークラブの特別代表である関博子様でした。2010年に中国、韓国、台湾、ネパール、ベトナム、ラオス、アメリカ、ドイツ出身の米山学友を中心とした多国籍の会員が集まったロータリークラブを発足にさせた立役者です。

現在31名の会員数で、平均年齢は37歳という若さで活気があふれている。「友愛」の心で国家、民

族、宗教などあらゆる多様性を相互に尊重し、世界を繋ぐ活動を展開するクラブを目指しているのだそうです。

また、メンバーのほとんどが米山記念奨学事業に縁のある者で発足したため、クラブ活動の一環として現役米山奨学生・学友の勉学と生活に関する支援活動にも力を入れ、国境、地区、さまざまな垣根を越えたネットワークを強化することに力点を置てるということです。

事務局を設けず、それぞれの会員が持ち回りで事務役割分担をし、例会は食事をとらず、コーヒー・紅茶一杯のシンプルな運営スタイルで会費を低く抑えているとのこと。実践をした人の話でしたので迫力があり、ところ処を覚えています。

この後でRI会長代理夫妻歓迎晩餐会があり、華やかな宴会でしたが報告は後続に譲ります。

良い話を聞くには、食事の前、午前中に限るを実感しました。



ロータリー財団委員長 若槻八十彦 会員

2017-2018年度 国際ロータリー第2560地区、地区大会の報告を申し上げます。10月28日(土) ホテルオークラ新潟で昼食の後、同ホテルにおいて午後1時から地区大会第1日目、地区指導者育成セミナーが開催されました。

三

三条クラブからの出席者は、川瀬ガバナーエレクト、川瀬年度地区幹事 関川博さん、地区財務委員金子俊郎さん、地区ロータリー財団 寄付・資金・ポリオプラス委員会委員 野崎喜一郎さん、三条クラブ会長 小出子恵出さん、クラブ幹事ならびに地区ロータリー財団 奨学金・V T T委員会委員 吉井直樹さん、クラブ米山記念奨学委員長 萩根澤隆雄さん、そしてクラブロータリー財団委員長の私、若槻の8名でした。

開会挨拶、点鐘から始まり、新保ガバナー挨拶の後、国際ロータリー、イアンH.S.ライズリー会長の代理として、姫路RCの三木 明氏がお祝いの挨拶をされました。その後、地区委員長がそれぞれ報告を行い、地区財務委員の前年度収支報告が終わると、ロータリー財団の講演と続きました。講師は、公益財団法人ロータリー日本財団理事、小牧RCの江崎柳節氏で、演題は「クラブが主役のロータリー財団」でした。

その後、米山学友体験発表として、張 博さんの話の後、米山記念奨学会講演で、東京米山友愛RCの特別代表、関 博子さんが、「米山奨学事業50周年を迎えて－未来を担う人づくり－」と題して話をされました。以上が、第1日目における地区指導者育成セミナーの内容でした。

また、この後、RI会長代理歓迎晩餐会が行われ、古町芸妓の素晴らしい唄と踊りを見せてもらいました。その中でも、相川音頭での男踊りという、黒の着物の裾をひるがえしながら踊る男踊りは珍しくて、めったに見られないんだよと、荻根澤さんから教えてもらいました。

以上、地区大会第1日目の報告とさせていただきます。

時間がまだあるようなので、ロータリー財団理事の江崎氏の講演について、もう少し詳しくお話しさせていただきます。「クラブが主役のロータリー財団」という演題でした。

最初に、「ロータリーの奉仕の独自性」という話をされました。「奉仕するものは行動しなければならない」。「ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も、単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表わさなくてはならない」と言われました。

次に、青少年交換の意義について話がありました。財団の基金にあって唯一、ロータリアンに対して支出される基金は、青少年交換に対する支出です。つまり、ロータリアンの子弟が青少年交換学生として、親善大使として、相互の国の友好親善に努めるならば資金を提供するというシステムです。これはいうまでもなく、ロータリーの目的とする、世界平和、友好親善、相互理解に合致するからであります。これが青少年交換の大いなる意義であります。

次に、ロータリー戦略計画の一つ、人道的奉仕の増加と重点化について。2013年から、新しい補助金モデルが導入され、単純に地区補助金とグローバル補助金の2つに分類されました。すると、財団補助金のうち地区補助金の額が横ばいであるのに対して、グローバル補助金の額が3年前と比べ45%増という目覚ましい結果が得られました。これはまさに、人道的奉仕の飛躍的な増加といえます。ロータリー戦略計画の成果であるといえるでしょう。

次に、退会防止について。クラブ退会の動機についてのアンケートによると、

- 1) クラブに指導性がない。これが68.1%。
- 2) クラブに奉仕性がない。これが52.2%。
- 3) クラブに魅力がない。これが51.6%。

これら3つは、クラブ退会の3要素と呼ばれています。

ひとりの貴重な会員であるクラウディアさんが退会を考えています。退会を思いとどまらせるために、クラブは何が出来るとでしょうか、という質問に、あなたはどうか答えるでしょうか。

- 1) 他のクラブを紹介する。
- 2) 親睦の集まりを開く。
- 3) 珈琲に誘って話を聞く。
- 4) クラブ親睦活動の予定表を渡す。
- 5) RLI (ロータリー・リーダーシップ研究会) の企画や運営に協力してもらう。
- 6) 奉仕委員会の委員になってもらう。

正解は、6) 奉仕委員会の委員になってもらう。そしてロータリーの基本である、奉仕の意義を理解してもらい、奉仕することの喜びを知ってもらうこと、ロータリーの精神を知ってもらうことであります。しかしながら、このことをロータリーの会員の一人ひとりに十分には伝えていない。また、それ以上に、一般の人々には伝わっていないし、伝えていないということが現状ではないでしょうか。まだまだ講演は続いたのですが、続きはまたの機会にお話しさせていただきます。



地区ロータリー財団委員会
寄付・資金・ポリオプラス委員
野崎喜一郎 会員

10月28、29日の2日間、新保年度の地区大会に参加してきました。

1日目は開会点鐘に始まり、各委員会の報告が発表されました。私の所属するロータリー財団委員会は、佐々木昌敏委員長が発表されました。

年次基金として一人150ドル、ポリオプラス寄付として一人30ドル、これが基本となっています。しかし、これがなかなか納入されません。6月の年度末になっても「0」、何度も何度も催促してようやく振り込むクラブもいくつかあります。年度初めとは申しませんが、せめて10月頃には全てのクラブが収めてもらえると大変ありがたいのですが。この点に関しては、クラブがまとめて徴収して納めるのか、各人が夫々納めるのか様々ですが、いずれにしても早い時期に収めてもらいたいと強く述べられました。

又、ロータリーカードの加入についても、クラブ員皆が加入すれば大変大きな収入源になります。

これはカードを利用するとその0.3%がロータリーに入る仕組みになっています。是非大勢の人から加入してください。佐々木委員長の会社では営業車のETCカードをすべてロータリーカードに変えました。

次に講演をされた、東京米山友愛ロータリークラブ特別代表の関 博子さんの話を紹介します。最初は別のクラブに所属していたのですが、昼の例会では食事をしながら、又夜の例会も時々あり、なかなか若い人たちが入りづらい雰囲気が有りました。時間的にも費用の面でも。

そこで、例会を平日は10:30~11:30、土曜日は夕方一時間に。これを隔週にしました。事務局も会員が分担して行うことにしました。こうすることによって会費を抑えることが出来、時間もあまり採られなくなり若い会員が集まるようになりました。これが、東京米山友愛ロータリークラブです。

さらに、東京米山ロータリーEクラブ2750を作りました。今のクラブよりもっと時間と会費を少なくすることが出来、会員の半分くらいは留学生や日本で働いている外国人です。

色々なクラブがあるとは思っていましたが、ここまで大胆に改革された話は初めて聞きました。簡単ですが印象に残っているところを話してみました。



松永一義 会長エレクト

地区大会の報告をさせていただきます。

10月29日、一日だけの参加でした。AM7:30市役所を出発、新潟の朱鷺メッセへ順調に到着。あまりに早すぎて開会まで1時間以上時間を持て余しました。1,200名参加の大きな大会でした。

点鐘に続き、ロータリーソングの「R-O-T-A-R-Y」の英語の歌には、慣れていない私にとってはビックリでした。

講演は、芥川賞作家の藤沢周さんの「坂口安吾が教えてくれたこと」と題するお話でした。

前に座られた方は眠く大変だったと思います。

アトラクションは60周年の三条クラブの川瀬先生のご子息の「高砂」を思い出し、新潟きやりの、のんびりした演出は、私にはちょっと楽しめませんでした。

最後の親睦交流会も1,200名の大宴会、ホテルオークラの料理でした。日本酒が無くなり、あちこちで不満の声が聞こえましたが、運営は苦勞されたと思います。来年はホストクラブとして身の引き締まる思いです。終わります。



米山奨学生エド君に奨学金の授与

2016-17年度 ガバナー賞



■ ローターリー財団寄付 個人表彰
渋谷健一 会員



■ 会員増強表彰 個人表彰
斎藤弘文 会員 増強数4名

「五十嵐川クリーン作戦」

去る11月5日(日) 午前7時から、五十嵐川を愛する会主催の「五十嵐川クリーン作戦」が開催されました。当クラブからは12名の会員の方々よりご参加いただきました。
ご協力ありがとうございました。

(出席者は週報メイクアップの欄に掲載しております。)



次週例会 11月22日 「会員卓話」 落合孝夫 会員

次々週例会 11月29日 「ロータリー財団月間」
ロータリー財団委員長
若槻八十彦 会員

